



社会医療法人若弘会 若草第一病院

資料請求や見学の申し込み
などは、こちらのQRコード
から当院ホームページへ



社団マスコット
わこちゃん

北館

1F 救急センター、検査部門、放射線部門
2F ICU6床、手術室4室、カテ室
3F~5F 病棟 (32床×3フロア)



南館 1Fリハビリ室、2~5F病棟 124床

本館 HCU4床、専門外来、透析室、化学療法室、MRI他

社会医療法人若弘会の理念

最高の医療を提供し、地域社会の健康と健やかな人生に貢献します

若草第一病院の目標

頼りにされる病院

基本方針

- 笑顔で接する
- 他人にやさしく、自分に厳しく
- 相手の気持ちになって行動する

若草第一病院の概要

所在地	東大阪市若草町1番6号
開設	昭和56年4月
院長	山中 英治
病床数	230床（ICU6床,HCU4床,開放型病床46床）
常勤職員	441名　うち医師数46名（指導医19名）
診療科目	内科,循環器内科,呼吸器内科,消化器内科,血液内科,小児科 外科,整形外科(人工関節センター・スポーツ整形外科) 泌尿器科,脳神経外科(一次脳卒中センター),眼科 耳鼻いんこう科,婦人科,皮膚科,形成外科, 放射線科,麻酔科,救急科,リハビリテーション科 病理診断科

○外来部門：救急センター、専門外来、総合外来、
内視鏡センター、脳卒中センター

○入院部門：7病棟（220床）、特定集中治療室（6床）
ハイケアユニット（4床）

○平均在院日数：13.0日
紹介率：62.3%

病床稼働率：85.7% 2024年度実績
逆紹介率：101.7% 2024年度実績

○施設基準：急性期一般入院料1（看護配置7対1）

特定集中治療管理料6床、ハイケアユニット入院管理料4床
開放型病院等々

●臨床研修指定病院（2002.4.1）

●地域医療支援病院（2006.12.28）

＜大阪府中河内圏域（東大阪市・八尾市・柏原市）＞

●大阪府がん診療拠点病院（2011.4.1）

●DPC対象病院（2006.4.1）＜2004.5試行適用病院＞

◆日本医療機能評価機構認定病院（一般病院 2）＜2023年6月更新＞

プログラム（基幹型・協力型）

● 特徴

地域医療の基幹病院として、一般診療、救急医療を通しプライマリ・ケアを中心に幅広い診療能力を身に付ける。

● 概要

一年次	○内科系＊ （消化器、循環器、呼吸器、総合内科、血液内科）	6ヶ月
	○救急	3ヵ月
	○外科＊（脳神経外科を含む）	2ヵ月
	○麻酔科	1ヵ月

＊内科研修及び外科研修は、一般内科外来研修と並行研修を行う。

プログラム（基幹型）

● 概要

二年次	○小児科*（大阪旭こども病院）	1ヵ月
	○地域医療*（診療所 坂本医院）	1ヵ月
	○産婦人科（関西医科大学総合医療センター）	1ヵ月
	○精神科（小阪病院）	1ヵ月
	○選択科目	8ヵ月

選択科目：内科（呼吸器・循環器・消化器・総合内科・血液内科）
外科、脳神経外科、整形外科、救急診療科、
麻酔科、小児科、眼科

*小児科研修及び地域医療研修は、一般内科外来研修と並行研修を行う。

研修ローテーション（実施例）

1年次

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科系(6ヶ月)						外科	麻酔科	救急			
循環器		消化器		呼吸器	総合						

2年次

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小児科	産婦人科	地域医療	精神科	選択科目							

- 2年次の必修科目(産婦人科、地域医療、精神科、地域保健)は協力型病院および協力施設にて研修を行う。

(産婦人科：関西医科大学総合医療センター、地域医療：坂本医院、精神科：小阪病院)

- 選択科目は、内科（呼吸器・循環器・消化器・総合内科・血液内科）、麻酔科、救急、外科、脳神経外科、整形外科、眼科を最大8ヶ月間研修する。
- 1年次必修外科研修2ヶ月のうち、1ヶ月を脳神経外科研修とする。
- 選択科研修の際に、未研修項目を重点的に回る。
- ローテーションは順不同。スケジュールは予定。
- 内科、外科、小児科、地域医療研修は、一般内科外来研修と並行研修を行う。

専門研修 基幹施設一覧

内	科	：大阪公立大学医学部附属病院
外	科	：関西医科大学附属病院
脳 神 経 外	科	：大阪大学医学部附属病院
麻 酔	科	：近畿大学医学部附属病院
小 児 科	* 科	：大阪公立大学医学部附属病院
整 形 外	科	：島根大学医学部附属病院
泌 尿 器	科	：関西医科大学附属病院
放 射 線	科	：大阪公立大学医学部附属病院
救 急	科	：大阪公立大学医学部附属病院
血 液 内	科	：大阪公立大学医学部附属病院
病 理	科	：近畿大学医学部附属病院
眼	科	：近畿大学医学部附属病院

*小児科は大阪市立大学医学部附属病院の研修関連施設

初期臨床研修医出身大学

年度	人数	大学名
2011年度	1名（内協力型0名）	香川大学
2012年度	6名（内協力型3名）	香川大学、大阪市立大学3人、富山大学、帝京大学
2013年度	7名（内協力型4名）	大阪市立大学5人、奈良県立医科大学、関西医科大学
2014年度	6名（内協力型3名）	大阪市立大学4人、奈良県立医科大学、藤田保健衛生大学
2015年度	6名（内協力型3名）	大阪市立大学5人、藤田保健衛生大学
2016年度	4名（内協力型2名）	大阪市立大学3人、近畿大学
2017年度	1名（内協力型0名）	大阪市立大学
2018年度	3名（内協力型0名）	大阪市立大学
2019年度	3名（内協力型0名）	大阪市立大学、香川大学
2020年度	4名（内協力型1名）	大阪市立大学、香川大学、佐賀大学、福井大学
2021年度	4名（内協力型0名）	佐賀大学、福井大学、関西医科大学、徳島大学
2022年度	4名（内協力型0名）	関西医科大学2名、徳島大学、高知大学
2023年度	4名（内協力型0名）	関西医科大学3名、高知大学
2024年度	4名（内協力型0名）	関西医科大学3名、大阪公立大学

学会認定研修施設（内科系）

- 日本病院総合診療医学会認定施設
- 日本循環器学会循環器専門医研修施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- 日本胆道学会認定指導医制度指導施設
- 日本膵臓学会認定指導医制度指導施設
- 日本肝臓学会関連施設
- 日本炎症性腸疾患学会関連施設
- 日本血液内科学会専門研修認定施設
- 日本呼吸器学会認定施設

学会認定研修施設（外科系）

- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本脳神経外科学会専門医訓練施設
- 日本脳卒中学会認定研修教育病院
- 日本脳卒中学会一次脳卒中センター
- 日本整形外科学会認定研修施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設基幹教育施設

学会認定研修施設

- 日本医学放射線学会放射線科専門医研修施設
- 日本医学放射線学会画像診断管理認定施設
- 日本感染症学会研修施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本臨床栄養代謝学会NST稼働認定施設
- 日本臨床栄養代謝学会NST教育認定施設
- 日本栄養療法推進協議会NST稼働認定施設

日本専門医機構認定連携施設

- 内科領域 専門研修連携施設

基幹施設：大阪公立大学医学部附属病院

兵庫医科大学病院

関西医科大学附属病院（2025年4月～）

- 救急科領域 専門医研修連携施設

基幹施設：大阪公立大学医学部附属病院

- 脳神経外科領域：専門研修連携施設

基幹施設：大阪大学医学部脳神経外科

夜間・休日 救急体制（当直医）

内科医師	2名
外科医師（週3日）	1名
脳外科医師	1名
整形外科医師（週3日）	1名
小児科医師（週1日輪番制）	1名

救急・緊急患者受入れ実績

	救急搬入 件数	緊急患者数 （外来）	緊急患者数 （入院）	合計
2021年度	4,749	4,978	3,776	8,754
2022年度	4,716	4,434	3,235	8,754
2023年度	4,649	4,482	3,260	7,742



外来 診察



研修医カンファレンス
毎週月曜夕方より



シミュレーターを使用した実習場面です

救急外来



診察室：3室
ベッド数：8床（陰圧室含む）

救急研修

救急搬送実績

2023年度

ER型救急センター

4,649件

研修内容

救急外来:内科系・外科系を問わず、全ての患者さんの初期治療、診断及びトリアージ

I C U:重症患者さんの呼吸、循環管理を習熟できる環境

初期診療から重症患者さんの集中治療まで、救急で扱う患者さんをトータルに研修できる病院です。

研修期間中は、救急専門医の細やかな救急領域の指導を受けることができます！

2023年度循環器科件数

心カテ等件数：125件

PCI 件数：46件



循環器内科研修

研修内容

初期研修では指導医のもと、一緒に患者さんを担当し
診断・治療に当たる。

狭心症・心筋梗塞症などの虚血性疾患はもとより、弁
膜症・心不全・心筋症・不整脈や大血管疾患、末梢血
管疾患などバラエティに富んだ疾患を経験できる。

内科他分野の専門医を目指す人でも、一定期間循環器を学び
たい場合は歓迎！

2023年度内視鏡件数

内視鏡件数 5,803件

上部内視鏡件数 3,047件

下部内視鏡件数 2,336件

膵・胆管系 370件

PTBD関連 35件

小腸カプセル内視鏡 15件



消化器内科研修

目標

一般内科診療の内、消化器内科領域の診療を通じて、必要な知識・診療技術、処置を学ぶ当科は、日本消化器病学会、日本内視鏡学会の研修認定施設です。

研修方略

初期臨床研修のプログラムに組み込まれており、1年次他科との調整で2～4ヶ月、2年次に最大4ヶ月選択科目として研修できる。

オリエンテーション

研修開始時に、内視鏡検査機器等の説明や各種法規・院内規定について解説を受け理解する。

診療

指導医・上級医の指導下で、担当患者の診察を行い、検査・治療の計画を立てる。上級医のもとで検査・処置を経験する。

研修評価

研修期間を通じて、知識・技能・態度について観察評価を行う。適宜のミーティング、カンファレンスを通じて行う。

消化器内科研修

週間スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
AM	(上部)内視鏡 大腸EMR PEG造設・交換	部長回診 腹部エコー 大腸EMR PEG造設・交換 アンギオ(肝) 上部・大腸ESD	(上部)内視鏡 大腸EMR PEG造設・交換	肝臓検査・処置 (上部)内視鏡 大腸EMR PEG交換 外来補助	腹部エコー 上部・大腸ESD PEG交換	腹部エコー (上部)内視鏡
PM	(大腸)内視鏡 ERCP カンファレンス	(大腸)内視鏡 ERCP	(大腸)内視鏡 ERCP	(大腸)内視鏡 ERCP カンファレンス	(大腸)内視鏡 ERCP	

呼吸器内科研修

研修内容

- ① 日常多く遭遇する病気、例えば「肺炎」、「気管支喘息」、「慢性閉塞性肺疾患」、「睡眠時無呼吸症候群」、「結核」、「非結核性抗酸菌症」、「気胸」、「肺癌」、「間質性肺炎」、「胸水貯留（膿胸や癌性胸膜炎）」など本当に数多く経験できる。
- ② 単に「見る」のではなく、外来受診の時点から一貫して「診る」ことができる。
- ③ スタッフとの距離が近い。
- ④ 呼吸器疾患の診療にとどまらず、RCT（Respiratory Care Team）、NST（Nutrition Support Team）やICT（Infection Control Team）などのチーム医療が熱心に進められているため、患者さんをひとりの人間としてとらえた医療について考えることができる。

外科 研修目標

1年目 2ヶ月間研修（必修）

術後創の縫合処置など
糸結び全般を修得してもらいます!!



外科研修

研修内容

- ① 高度先進医療は実施していなくても、胃癌、大腸癌、乳癌、胆石症、虫垂炎、ヘルニア、痔、急性腹症などの、日常よく遭遇する病気を、標準的な治療で、かつ合併症なく実施することができる外科医になってもらえる研修を保証する。
- ② 当院は東大阪という交通至便な都会に立地し、専門医取得に十分な症例を経験できる。
- ③ 超有名病院ではないので、研修医も少人数で丁寧な指導を受けることができる。

当たり前の手術を、当たり前前に安全にできる、地域の信頼を得る外科医を養成します！

脳神経外科手術



脳神経外科研修

診療疾患

脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）
頭部外傷、意識障害、けいれん発作、t-PAを用いた血栓溶解療法等の
超急性期治療など（一次脳卒中センター認定）

研修内容

救急搬送患者さんの診察、初期治療と一般外来診療の補助、
手術の術者または助手、DSA（脳血管撮影）の実施、入院患者さんの
回診・検討会、指導医とともに当直

アカデミックな活動

（研究会・学術集会・学会などでの発表や論文作成）

医師としての心構え・態度を身に付けるとともに、脳神経外科
疾患についての知識を習得し、診断・処置・治療法の概要を把
握することを目的とします。

整形外科研修

対象

整形外科で扱う一般的な外傷、人工関節の手術、スポーツ整形疾患

手術

小児の上肢の骨折、関節鏡視下手術、交通外傷にともなう下肢の手術、手の外傷における顕微鏡下の手術、人工関節置換術、脊椎の手術など。

手術件数

2023年度：326件

将来整形外科を目指す方や、外傷を専門にしたいと思っ
ている方はどうぞお気軽にご相談ください！

麻酔科研修

研修内容

外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科の麻酔及び術中術後管理を行う。

単に麻酔をかけるのみならず、術前の全身評価をはじめに、術中および術後管理を行う。

当院は中核病院であり各科の垣根もなく、比較的自由に行き来できます！

募集要項

1. 募集コース、定員

基幹型 2名、協力型 3名

2. 研修医の処遇

①常勤・非常勤の別：常勤

②給 与 ・ 1年目 358,000円/月、 ・ 2年目 377,000円/月

③賞 与 ・ 1年目 250,000円/年、 ・ 2年目 350,000円/年

④当直手当 ・ 1年目 10,000円/回、 ・ 2年目 25,000円/回

⑤住 居 ・ ワンルームマンション（使用料1万円/月、水道光熱費自己負担）

⑥食 事 ・ 院内食堂（補助あり）

⑦駐車場 ・ あり

⑧保 険 ・ 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険

⑨医師賠償保険の扱い ・ あり

⑩インターネット利用状況 ・ 臨床研修室1台、医局1台、図書室4台

⑪その他 ・ 院内学会、日帰り又は一泊旅行、食事会など。白衣貸与
・ 研修医室、研修医専用机あり。

3. その他

病院見学 随時